

令和6年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

技術・家庭

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	・学習に対して意欲的であり、課題への取り組みも早く発言も多い。 ・試験前の学習や復習に取り組んでいた生徒とそうでない生徒によって、知識の定着の差が大きい。 ・定期考査へ向けた学習方法を理解していない生徒がいる。	・学んだ知識が実習や実生活では生かされていないことが多いので、知識と実践を結びつける工夫が必要である。	・範囲をしぼった小テストを実施し、知識の定着を図る。 ・実習前に学んだ知識を思い出せるような質問や先週の授業の振り返りを行い思い出させる。
8 学 年	・授業への取り組みが良く発言なども多いが、定期考査の結果等を見ると試験前の学習や復習に取り組んでいた生徒とそうでない生徒によって、知識の定着の差が大きい。	・学んだ知識が実習や実生活では生かされていないことが多いので、知識と実践を結びつける工夫が必要である。	・実習前に学んだ知識を思い出せるような質問や先週の授業の振り返りを行い思い出させる。
9 学 年	・授業には積極的に取り組んでいるが、知識の定着が弱く、定期考査の結果に結びついていない。 ・事前に学んだ知識を実習や実技で生かすことができない。	・学んだ知識や技能を定着させる工夫が必要である。	・授業の最初に知識を思い出せるような質問をしたり、視聴覚機器を利用したりして、視覚的に思い出させる。